

外部評価事業フォローアップ

①国立公園満喫プロジェクト

委員会の意見：奥入瀬溪流の倒木に迅速に対応できるよう、県と連携していただきたい。

評価後の対応：○4月～5月に、国、県、市、関係機関等により樹木安全点検及び危険木調査を実施。

○施設管理者（遊歩道：県観光企画課、国道：上北地域県民局）において、落枝、倒木等の撤去を実施。

改善の状況等：

危険木調査等実施状況

	令和4年度	令和5年度
奥入瀬溪流遊歩道	延べ3日間	延べ3日間
国道102号(奥入瀬溪流区間)	延べ3日間	延べ3日間

委員会の意見：ワーケーションやビジネスにおいて、Wi-Fi環境の整備が重要。

評価後の対応：○インバウンド受入環境整備事業により、民間事業者のWi-Fi整備を補助。

○令和元年度は4件の実績であったが、コロナ禍によるインバウンド需要の変化により、当該事業の活用が減少していたもの。

インバウンド受入環境整備事業補助金実績

	令和4年度	令和5年度 (7月末現在)
Wi-Fi整備	2件	1件
その他(ホームページ英訳など)	3件	4件
補助金額	2,146千円(実績額)	3,000千円(予算額)

改善の状況等： —

委員会の意見：紅葉期の渋滞対策等について早めに考え方や方針を打ち出してほしい。

評価後の対応：【紅葉期】

- 令和5年度は、鳶沼における渋滞対策事業の予約を約1か月前倒しで開始するなど、事前周知に努めた。

【ゴールデンウィーク期間】

- 令和5年度は、新型コロナウイルスに係る規制緩和により、観光客の増加が見込まれたため、十和田湖周辺渋滞対策協議会により対策を実施。

改善の状況等：

渋滞対策状況

	令和4年度	令和5年度
紅葉期	鳶沼 予約開始日 9/2～	鳶沼 予約開始日 8/7～
GW期	未実施	奥入瀬溪流 3日間実施 5/4～5/6

委員会の意見：早期に登山道整備に取り組んでいただきたい。

評価後の対応：十和田山岳振興協議会等と現地調査を実施。

改善の状況等：○令和5年8月下旬 環境省による国立公園計画の変更（赤沼線道路）承認
(官報告示)

- 令和5年10月上旬 赤沼登山道整備
〔ヤシマット敷設（8か所）、倒木処理等（12か所）、
ロープ柵設置（15か所）〕

○令和5年11年1日 赤沼登山道利用開始（予定）

外部評価事業フォローアップ

②中心市街地活性化

委員会の意見：中心市街地の賑わい創出に向け、商店街と協議を重ねていただきたい。

評価後の対応：令和4年度は、中心市街地活性化協議会総会における情報共有に加え、商店街連
合会との意見交換会を実施。

改善の状況等：

協議会開催状況

年月日	内 容
令和4年5月16日	中心市街地活性化協議会総会 (32名参加)
令和4年7月27日	商店街連合会意見交換会 (5名参加)
令和5年5月11日	中心市街地活性化協議会総会 (32名参加)

委員会の意見：空き店舗の事業継承や新規事業者の誘致を含め、中心市街地の賑わいを創出して
いただきたい。

評価後の対応：○市内の空き店舗等を活用して事業を開始する個人または法人に対して、改修等
に係る経費の一部の補助する「創業支援空き店舗等活用事業補助金」を継続
実施。

○令和5年度は、「IT関連企業立地促進事業補助金」を創設。

改善の状況等：

創業支援空き店舗等活用事業補助金令和【4年度実績】

	決定件数	補助金総額
全体	11件	9,037千円
うち中心市街地エリア	3件	3,304千円

委員会の意見：「とわふる」は駐車場がなく、利用者にとっては搬入が不便なのではないか。

評価後の対応：○作品や物品等を搬入する際は、搬入用通路への関係車両の乗入及び一時駐車が可能。

○「とわふる」の200メートル圏内には、民間駐車場が5か所あり、一定の駐車台数が確保されている。

「とわふる」近隣の民間駐車場の状況

No.	駐車場名	駐車台数※（）内は障がい者用台数
1	A S T 十和田駐車場	52台（2台）
2	米田駐車場	25台（0台）
3	やすの駐車場	43台（0台）
4	五丁目駐車場	51台（0台）
5	東2番町駐車場	33台（0台）

改善の状況等： ー

委員会の意見：「とわふる」の使い方について市側が示す必要がある。

評価後の対応：市主催の企画展等の開催を通じ、大・中ギャラリー等の使用方法等の周知に努めた。

改善の状況等： 「とわふる」で開催した企画展等

	会 期	入館者数
名和晃平展	令和4年6月18日～令和4年11月20日	2,335人
和田光弘展	令和5年3月17日～令和5年3月26日	2,000人
竹久夢二展	令和5年4月23日～令和5年5月7日	1,800人

外部評価事業フォローアップ

③妊娠期からの切れ目のない子育て支援

委員会の意見：満足度を上げられるよう、さらなる支援強化が必要。

評価後の対応：令和4年度から以下のとおり事業を拡充。

【子育て安心サポート事業（パパママ教室）】

- ①年4回から年12回に増加して開催。
- ②父親も教室に参加しやすいように、年6回は日曜日に開催。
- ③妊娠期のみならず、産後も参加できるよう産後コースを開設。

【産後ケア事業】

- ④利用対象要件を産後4か月から1年に拡大。
- ⑤利用回数の上限を3回から7回に増加。

【子育て情報配信システム】

- ⑥令和4年6月から利用者が手軽に必要な情報を受け取ることができる母子手帳アプリ「母子モ」の運用を開始。

改善の状況等：

	令和4年度	令和5年度 (7月末時点)
パパママ教室参加者数	121名	58名 【前年同月比+18人】
産後ケア事業利用者数	54名	14名 【前年同月比-3人】
母子モ登録者数	542名	126名

委員会の意見：乳幼児期から18歳まで一人も取り残すことのないよう、切れ目のない支援をしていただきたい。

評価後の対応：○令和4年10月から子ども医療費給付事業における小・中学生に係る所得制限を緩和するとともに、対象を高校生の入院まで拡充。

○令和4年度から、子どもを預かるうえで気になること、不安に思うことを気軽に相談できるよう、教育・保育施設、地域型保育事業者向けに、相談窓口一覧を作成。

改善の状況等：

新生児期～18歳までの支援一覧

	令和4年度	令和5年度
新生児期（生後1か月）	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児家庭全戸訪問指導 ・産婦委託健康診査 ・【新規】子育て応援給付金 ・【拡充】産後ケア事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・【新規】新生児聴覚検査費用助成 ・乳児家庭全戸訪問指導 ・産婦委託健康診査 ・子育て応援給付金 ・産後ケア事業
乳児期（0～1歳）	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児家庭全戸訪問指導 ・養育支援訪問指導 ・【新規】先天性股関節脱臼検査費用助成 ・母子保健相談等 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児家庭全戸訪問指導 ・養育支援訪問指導 ・先天性股関節脱臼検査費用助成 ・母子保健相談等
幼児期（1歳～6歳）	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診査（1歳～3歳） ・フッ化物洗口事業 ・幼児の発達支援事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診査（1歳～3歳） ・フッ化物洗口事業 ・幼児の発達支援事業
学童期（7歳～12歳） 思春期（12歳～18歳）	<ul style="list-style-type: none"> ・子どものこころの相談 ・SOSの出し方教育 ・【拡充】子ども医療費給付事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どものこころの相談 ・SOSの出し方教育 ・子ども医療費給付事業

外部評価事業フォローアップ

④健康診査の推進

委員会の意見：受診率を向上させる取組を実践していただきたい。

評価後の対応：令和5年度から以下のとおり事業を拡充。

- ①受診機会拡大のため、集団健診の休日実施日を9日から11日に増加。
- ②大腸がん検診未受診者への勧奨対象（無料受診）に、51歳（3月31日時点）を新たに追加。

改善の状況等： 大腸がん検診受診者数

	令和4年度	令和5年度（7月末時点）
受診者数	7,605名	2,553名 【前年同月比+78人】

委員会の意見：費用免除以外のインセンティブの付与を検討していただきたい。

評価後の対応：令和5年度から、以下に対して健康とわだポイントラリーの付与ポイントをアップ。

- ①全健診（検診）受診者
- ②20・21歳になる方で子宮頸がん検診を受けている方
- ③40・41歳になる方で1つでも健診（検診）を受けている方
- ④39歳以下で1つでも健診（検診）を受けている方

改善の状況等： ポイントラリー申込者数及び大腸がん検診受診率

	令和4年度	令和5年度（7月末時点）
ポイントラリー申込者数	333人	2人 【前年同月比±0】
受診率（大腸がん）	30.9%	10.9% 【前年同月比+0.8ポイント】

※健康とわだポイントラリーの申込は例年、年末から2月頃に集中

外部評価事業フォローアップ

⑤緊急通報体制等整備

委員会の意見：救急医療情報キットの設置世帯を増やす取組を積極的に進めていただきたい。

評価後の対応：令和5年度から以下のとおり取組を強化。

- ①PRポスターを市内の病院・薬局に配付。
- ②すこやか長寿を祝う会を活用した情報発信。(じゅんちゃん一座による講演等)
- ③来庁が困難な市民のために、個人宅や集会所等へ出向いての説明等を実施。

改善の状況等：

救急医療情報キット配付個数及び活用件数

	令和4年度	令和5年度(7月末時点)
配付数	392個	97個 【前年同月比+78枚】
活用件数	4件	1件

外部評価事業フォローアップ

⑥移住・交流への支援体制の強化

委員会の意見：移住・定住の促進に向け支援体制の強化をすべき事業だと考えます。

評価後の対応：令和5年度から以下のとおり事業を拡充。

①移住コンシェルジュ（地域おこし協力隊）を採用し、移住相談への対応及び情報発信等の体制を強化。

②若年、子育て世帯の移住に係る支援内容を拡充。

・移住・定住住宅取得等支援の補助上限額を増額（100万円→150万円）

・移住支援金の子育て世帯加算の増額

（18歳未満の子1人につき30万円→100万円）

改善の状況等：

移住者数実績

	令和4年度	令和5年度（7月末時点）
移住者数	83世帯、184人	25世帯、67人

委員会の意見：地元の人々との交流の場をもっと作っていただきたい。

評価後の対応：○令和3年度から移住者交流イベントを継続して実施。

移住交流イベント参加者数

	令和4年度	令和5年度
参加者数	23名【前年度比+4人】	秋開催予定

○令和5年度から移住お試し住宅利用者に、移住体験プログラム（先輩移住者との交流、農業体験等への参加）を必須要件として設定。

お試し住宅利用者数

	令和4年度	令和5年度（7月末時点）
利用者数	24名	12名【前年同月比+8人】

改善の状況等： -

委員会の意見：評価されている部分をデータとして活用し、PRしていただきたい。

評価後の対応：令和5年度から、地域おこし協力隊の活動の一環として、SNS（インスタ等）を活用し情報発信を強化。

改善の状況等：令和5年10月上旬開設予定

外部評価事業フォローアップ

⑦公共交通の維持・確保

委員会の意見：新たな計画の策定により、さらに有効的な事業を推進すべきと考えます。

評価後の対応：○新たに策定した十和田市地域公共交通計画に基づき、以下の取組を実施。

- ①市街地循環バス等の利便性向上
- ②公共交通空白地有償運送の見直し
- ③公共交通のオープンデータ化 など

○公共交通空白地である東地区において、令和5年8月からシャトルバス実証運行を開始。

改善の状況等： 市街地循環バス・西地区シャトルバス利用者数

	令和4年度	令和5年度（7月末現在）
利用者数	28,543 人	13,873 人 【前年同月比+6,176 人】

委員会の意見：シャトルバス、路線バス等のない地域が増えているので、予約制乗合タクシーの需要がますます増加してくると思います。

評価後の対応：○令和4年度から「おとたく」、「きりたく」、「ふかたく」に加え、藤坂・伝法寺地区で新たに「ふじたく」を開始。

○令和5年度から各路線の便数を4便から6便に増便。

改善の状況等： 予約制乗合タクシー利用者数

	令和4年度	令和5年度（7月末現在）
利用者数	2,832 人	1,153 人 【前年同月比+272 人】

委員会の意見：市民の足の確保について前向きに取り組んでいただきたい。

評価後の対応：令和5年度から以下のとおり取組を推進。

①市街地循環バス・西地区シャトルバスについて、便数を各1便増。

②夜行高速バスのまちなか交通広場への乗入。

令和5年6月～ MEX 三沢（南部バス）【バスタ新宿・東京ディズニーシー行き】

令和5年9月～ シリウス号（十鉄） 【池袋・東京駅行き】

③公共交通空白地有償運送について、運賃の値下げ及び休屋・宇樽部地区の通年運行を実施。

改善の状況等：

公共交通空白地有償運送利用実績

	令和4年度	令和5年度（7月末現在）
利用者数	67人	32人 【前年同月比+4人】